

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**小倉駅南口東地区第一種市街地再開発事業**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.5</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.2</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.4</b>
1.1 騒音		3.0	0.44	3.0	0.50			
1.2 遮音		<b>1.0</b>	0.44	<b>3.0</b>	0.50			
1 開口部遮音性能		1.0	0.76	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		1.0	0.24	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20			
1.3 吸音	床と天井に吸音材を使用している。	<b>4.0</b>	0.13		-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.8</b>	0.35	<b>4.4</b>	1.00			<b>3.2</b>
2.1 室温制御		<b>3.2</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.71			
1 室温		3.0	0.47	-	-			
2 外皮性能	LOW-Eガラスの採用などが外皮性能向上に寄与している。	3.0	0.30	5.0	1.00			
3 ゾーン別制御性	細かな空調ゾーニング計画としている。	4.0	0.23		-			
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.29			
2.3 空調方式		<b>2.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.8</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.8</b>
3.1 昼光利用		<b>3.5</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.40			
1 昼光率	昼光率:事務所2.2%以上 住居:7.5%以上	4.0	0.59	5.0	0.50			
2 方位別開口			-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.41	3.0	0.20			
3.2 グレア対策	ブラインドによりグレアを制御している。	<b>3.0</b>	0.29	<b>4.0</b>	0.40			
1 グレア制御	事務所:ブラインド設置 住居:カーテンと庇による制御	3.0	1.00	<b>4.0</b>	1.00			
3.3 照度	全般照明方式で500LX以上を確保している。	<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.20			
3.4 照明制御	1作業単位で照明制御を図っている。	<b>5.0</b>	0.26	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.4</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00			<b>4.3</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.54	<b>5.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	対象建材はF☆☆☆☆等級の建材を内装全面的に使用	5.0	1.00	5.0	1.00			
4.2 換気		<b>3.5</b>	0.34	<b>2.3</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.41	3.0	0.33			
2 自然換気性能	事務所:自然換気面積確保	4.0	0.18	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口は汚染源のない方位に設けられている。	4.0	0.41	1.0	0.33			
4.3 運用管理		<b>4.5</b>	0.13		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視	手動による計測を前提としたシステム。管理マニュアルの作成予定	4.0	0.50		-			
2 喫煙の制御	喫煙室を設けている。それ以外のエリアは禁煙エリアとしている。	5.0	0.50		-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.9</b>	0.40	<b>3.2</b>	1.00			<b>3.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	0.20		-			
2 高度情報通信設備対応	OAフロア等によりレイアウト変更に対応できるよう配慮している。	3.0	0.20	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	0.60		-			
1.2 心理性・快適性		<b>4.7</b>	0.30	<b>3.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観	事務所CH2.8m 住居CH2.5m	4.0	0.21	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース	各階にリフレッシュスペース、自販機スペースあり	5.0	0.21		-			
3 内装計画	コンセプトがあり、天然素材の利用とパースによる検討を実施	5.0	0.58	3.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>4.5</b>	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	外部に露出する金属材にメッキ処理など配慮している。	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保	清掃容疑室に洗い場を設置している。	5.0	0.50		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.3</b>	0.30		-			<b>3.3</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.4</b>	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能	基準法に定められた耐震性能を有する。	5.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.4</b>	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	11年以上20年未満	4.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	主要な上位3種の2種以上にB以上を使用。E不使用。	4.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な上位3種の2種以上にB以上を使用。E不使用。	5.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		3.0	0.20	[Cross-hatched]	-	3.8	
	2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-		
	3 電気設備		3.0	0.20		-		
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
	5 通信・情報設備		3.0	0.20		-		
	引き込みの2ルート化を図っている。			3.0		0.20		-
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.9</b>	<b>0.30</b>	<b>3.6</b>	<b>1.00</b>		
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	事務所フロアは階高さ3.9m以上、住宅階は階高さ3m以上。	4.6	0.19	4.2	0.50		
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率算定図参照	5.0	0.60	5.0	0.60		
3.2 荷重のゆとり		事務所フロアは4500N/m2以上、住宅フロアは1800N/m2以上。	4.0	0.40	3.0	0.40		
3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性		5.0	0.19	3.0	0.50		
	2 給排水管の更新性		5.0	0.19	3.0	0.50		
3 3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性	EPS及び天井点検口から配線更新可能としている。	3.4	0.62	[Cross-hatched]	-		
	4 通信配線の更新性	EPS及び天井点検口から配線更新可能としている。	3.0	0.20	[Cross-hatched]	-		
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	[Cross-hatched]	-		
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	[Cross-hatched]	-		
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.33	-	-	<b>3.0</b>
	1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	[Cross-hatched]	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	[Cross-hatched]	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	[Cross-hatched]	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	[Cross-hatched]	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	[Cross-hatched]	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.4</b>	
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.7</b>	
1 建物外皮の熱負荷抑制	LOWEガラスの採用など建物外皮の熱負荷抑制に貢献。		4.6	0.14	[Cross-hatched]	-	4.6	
2 自然エネルギー利用			2.9	0.11	[Cross-hatched]	-	2.9	
3 設備システムの高効率化	BEIm 非住宅 0.88 住宅(専有部) 0.93		4.2	0.54	[Cross-hatched]	-	4.2	
3.1 集合住宅以外の評価(3a.3b)	(設計)13,918[GJ/年] / (基準)15,867[GJ/年]		4.0	0.63	[Cross-hatched]	-		
3.2 集合住宅の評価(3c)	(設計)2,147[GJ/年] / (基準)2,301[GJ/年]		4.5	0.37	[Cross-hatched]	-		
4 効率的運用	集合住宅以外の評価		2.6	0.22	[Cross-hatched]	-	2.6	
	4.1 モニタリング		2.5	0.63	[Cross-hatched]	-		
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	[Cross-hatched]	-		
	集合住宅の評価		2.0	0.50	[Cross-hatched]	-		
	4.1 モニタリング		3.0	0.37	[Cross-hatched]	-		
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	[Cross-hatched]	-		
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.2</b>	
1 水資源保護			3.4	0.20	[Cross-hatched]	-	3.4	
1.1 節水	節水コマの採用。		4.0	0.40	[Cross-hatched]	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	[Cross-hatched]	-		
1.2.1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	[Cross-hatched]	-		
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	[Cross-hatched]	-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	[Cross-hatched]	-	3.1	
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	[Cross-hatched]	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	[Cross-hatched]	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	[Cross-hatched]	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床(パーティクルボード)、カウンター(集成材)		4.0	0.20	[Cross-hatched]	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	[Cross-hatched]	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	[Cross-hatched]	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	[Cross-hatched]	-	3.6	
3.1 有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質を含まない材料の積極的採用を図っている。		5.0	0.30	[Cross-hatched]	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	[Cross-hatched]	-		
3.2.1 消火剤			-	-	[Cross-hatched]	-		
3.2.2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	[Cross-hatched]	-		
3.2.3 冷媒			3.0	0.50	[Cross-hatched]	-		
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.1</b>	
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出量は一般建物並み。		3.3	0.33	[Cross-hatched]	-	3.3	
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	[Cross-hatched]	-	3.1	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	[Cross-hatched]	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	[Cross-hatched]	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	[Cross-hatched]	-		
2.3.1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	[Cross-hatched]	-		
2.3.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	[Cross-hatched]	-		
2.3.3 交通負荷抑制	建物利用者のための適切な量の駐車施設を配置している。		5.0	0.25	[Cross-hatched]	-		
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	ごみの多種分別が可能なストックスペースを有している。		4.0	0.25	[Cross-hatched]	-		
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	[Cross-hatched]	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	[Cross-hatched]	-		
3.1.1 騒音			3.0	0.33	[Cross-hatched]	-		
3.1.2 振動			3.0	0.33	[Cross-hatched]	-		
3.1.3 悪臭			3.0	0.33	[Cross-hatched]	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	[Cross-hatched]	-		
3.2.1 風害の抑制			3.0	0.70	[Cross-hatched]	-		
3.2.2 砂塵の抑制			3.0	-	[Cross-hatched]	-		
3.2.3 日照障害の抑制			3.0	0.30	[Cross-hatched]	-		
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	[Cross-hatched]	-		
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	[Cross-hatched]	-		
3.3.2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	[Cross-hatched]	-		